

基本目標	基本施策	指標	現状値 (令和4年度実績値 もしくは公表値)		令和6年度(速報値) もしくは公表値	目標値	令和6年度の主な取組状況	令和7年度の事業予定	
			男性	女性					
健康寿命			男性	81.64歳	81.50歳	上げる			
			女性	83.1歳	82.97歳				
1	健康的な生活習慣の実践に向けた取り組み	1 運動やスポーツを通じた健康づくり 2 休養とこころの健康づくり 3 たばこ・アルコール対策の推進 4 歯と口腔の健康づくり 5 主体的な健康管理の実践	運動習慣者(週2回以上)の割合	45.5%		上げる	<p>・自殺対策については、庁内連絡会及び改定委員会を設置し検討をすすめ、国の自殺総合対策大綱及び東京都自殺総合対策計画に基づき、基本施策の再構築を図り「調布市自殺対策計画(第2次)」を策定した。</p> <p>・ゲートキーパー研修は、令和5年度から市民だけでなく市職員全員を対象に実施しており、令和6年度は職員1,613人が研修を受講した。</p> <p>・歯周病検診において、啓発チラシ「調布市がん通信」による周知や、従来実施していた20歳に加えて30歳にも個別にリーフレットによる啓発及び受診勧奨を実施した。また、申込み制検診をQRコードから申込ができるよう市民の利便性を図った。</p> <p>・令和6年6月に、調布市歯科医師会との共催による「歯と健康のつどい」を開催した。</p>	<p>・新たな計画に基づき、生きづらさを抱える方への支援やゲートキーパーの養成、未遂者支援の検討など自殺対策を推進する。</p> <p>・若年層の歯周病検診受診勧奨の取組、DX活用等による申込方法の改善などを検討する。</p> <p>・令和7年度も、調布市歯科医師会との共催による「歯と健康のつどい」を開催する。</p>	
			運動やスポーツをしている子どもの割合	66.7%		上げる			
			睡眠時間が6～9時間(60歳以上については、6～8時間)の者の割合	57.0%		上げる			
			ゲートキーパー養成講座参加者数	381人	329人	上げる			
			中学生・高校生の飲酒の割合	8.7%		0.0%			
			20歳以上の喫煙の割合	11.9%	10.5%	6.1%			
			中学生・高校生の喫煙の割合	0.9%		0.0%			
			妊婦中の喫煙者数	9人	5人	0人			
			むし歯(う歯)のない者の割合(3歳児)	96.7%	96.7%	上げる			
			歯周ポケットの深さが4mm以上の者の割合(40歳)	42.0%	32.7%	下げる			
			過去1年間に歯科健診を受診した者の割合	成人	41.5%				上げる
				中高生	52.3%				
			児童・生徒における肥満傾向児の割合	小4男子	3.21%	2.22%			下げる
				小4女子	0.88%	1.81%			
			BMI20以下の高齢者(65歳以上)の割合		22.6%	30.7%			下げる
			かかりつけ医がいる者の割合		53.9%				上げる
			かかりつけ歯科医がいる者の割合		50.3%				上げる
かかりつけ薬局がいる者の割合		24.5%		上げる					
2	健康づくりのための環境整備	1 総合的ながん対策の推進 2 受動喫煙の防止に向けた環境づくり 3 生活習慣病と健康危機から市民を守る健康づくり 4 地域との連携・協働の充実による健康づくり	がん検診の受診の割合(5がんを掲載)	胃がん	25% (22.5%)	23.60%	上げる	<p>・各種がん検診の実施とともに、検診体制のあり方検討会を開催し、科学的根拠に基づく効果的ながん検診の実施や受診率向上のため検討を進めた。</p> <p>・HPVワクチンについて、定期接種・キャッチアップ接種を継続するとともに、小学6年生から高校1年生相当の男子を対象に接種費用の一部助成を開始した。</p> <p>・がん患者支援では、ウィッグ等の購入費助成を拡充したほか、令和6年8月から調布市がん相談サポート事業を本格実施した。</p> <p>・がん啓発については、乳がん・子宮頸がんキャンペーンのほか、産学官連携によるがん啓発プロジェクト(CAJプロジェクト)による若者向け子宮頸がん検診啓発動画・ポスター製作、啓発ちらし「調布市がん通信」の発行・全戸配布を行った。</p> <p>・受動喫煙対策では、世界禁煙デー・禁煙週間のキャンペーンや啓発チラシの全戸配布により、調布市受動喫煙防止条例の内容等を周知するとともに、調布市医師会・市内企業等の協力のもと、防煙教育などを実施した。</p> <p>・国民健康保険事業では、継続して実施している糖尿病重症化予防事業・受診勧奨事業に加え、あらたに受診行動適正化事業を実施した。</p>	<p>・がん検診体制あり方検討会の検討結果を踏まえ、令和9年度を見据え、科学的根拠に基づく国の指針に沿ったがん検診の実施に向けた検討を行う。</p> <p>・がん患者の支援では、検討会による協議を継続するとともに、がん相談サポート事業の検証や仕事と治療の両立支援に関する検討を進める。</p> <p>・HPVワクチンのキャッチアップ接種については、国が時限的な接種期間の延長を示したため、対象者への周知等適切に対応する。</p> <p>・引き続き、調布市医師会・市内企業等と連携し、調布市受動喫煙防止条例や受動喫煙対策の周知・啓発を図る。</p>
				肺がん	0.7% (0.6%)	0.6%			
				大腸がん	30.2%(13.8%)	13.6%			
				子宮頸がん	9.0% (13.7%)	15.1%			
				乳がん	10.6%(13.2%)	12.5%			
			調布市受動喫煙防止条例を知っている者の割合	51.7%	48.9%	上げる			
			受動喫煙(家庭・職場・飲食店)の機会を有する者の割合	26.6%		下げる			
			収縮期血圧140mmHg以上の者の割合	18.3%	19.0%	下げる			
			LDLコレステロール160mg/dl以上の者の割合	12.1%	11.5%	下げる			
			メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合	27.5%	28.5%	下げる			
			HbA1c6.5%以上の者の割合	7.0%	7.1%	下げる			
近所づきあいをしていない人の割合	9.9%		下げる						

3	食を通じた「こころ」から「からだ」の健康づくり	1 食に関する理解の促進 2 健康的な食生活の実践 3 食を通じた地域とのつながりの充実	朝食の欠食者の割合	21.7%		下げる	・食育月間・食生活改善普及運動月間において、公共施設等でのほり旗の設置や野菜摂取促進オリジナルティッシュの配架をした。 ・調布市産の野菜に関する内容も盛り込んで、食育講演会や市内企業との連携による市内小学生対象の食育セミナーを開催した。 ・健康・食育プランを紹介する食育ガイドを作成・発行した。	・市制施行70周年を記念し、著名な講師を招聘し食育講演会を開催するとともに食育セミナーと連動した事業として実施する。
			主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合	35.3%		上げる		
			野菜不足と感じている人の割合	36.0%		下げる		
			減塩を意識している人の割合	29.8%		上げる		
			食事(夕食)が楽しい人の割合	73.2%		上げる		
			食べ物を大事にする人の割合	64.1%		上げる		
			食品ロスを減らす心がけとして食べ残しをしない人の割合	68.2%		上げる		
			むせたり誤嚥したりしないように気をつける人の割合	16.9%		上げる		
			食事のマナー(挨拶、箸使い等)を大切にしている人の割合	34.0%		上げる		
			意識的に調布産の農産物を購入している人の割合	32.6%		上げる		
			郷土料理や伝統料理・行事食などを受け継いでいると感じている人の割合	60.0%		上げる		
			調布っ子食育マスター認定者数	41人	23人	上げる		

※令和6年度：グレー部分は意識調査・福祉ニーズ調査(令和7年度実施)で把握するため未把握

※がん検診の受診の割合(5がんを掲載)：計画策定時から統計上の検診対象者の年齢が変更になっているため、現状値は今後()の数値を使用

- ・胃がん：40歳以上→50～69歳 ・肺がん：40歳以上→40～69歳 ・大腸がん：40歳以上→40～69歳
- ・子宮頸がん：20歳以上→20～69歳 ・乳がん：40歳以上→40～69歳

<結果>

- 健康寿命は減少
- 20歳以上の喫煙率及び妊婦の喫煙者数は減少
- 歯周ポケットの深さが4mm以上の者の割合(40歳)は10%近く減少
- 小4男子の肥満傾向の割合は下がったが、女子は増加
- BMI20以下の高齢者(65歳以上)の割合は大幅に増加、特に後期高齢者における割合が増加している
- 子宮頸がん検診において、受診率向上事業の効果があり増加
- 食育セミナーは令和2～4年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため通信制で実施、令和6年度より対面再開